

秋田県潟上市と自治体間包括連携協定を締結します

- 明治期の偉人・石川理紀之助翁を縁とした中学生の相互交流を礎に、秋田県潟上市と自治体間包括連携協定を締結。
- 教育・学術から経済・産業振興、防災・危機管理まで幅広い分野での相互連携を構築。
- 市民も交流を体感。「道の駅」都城N i Q L Lで潟上市の物産P R・展示販売を実施。

○背景・経緯など

- ・本市と潟上市は、農業の先駆者・石川理紀之助翁を縁として、都城市立山田中学校と潟上市の中学生が長年にわたり相互訪問を重ねてきた深い交流の歴史を持ちます。
- ・この度、この絆を礎として、教育交流にとどまらず、経済・産業振興や防災・危機管理など幅広い分野での自治体間包括連携協定を締結します。



○締結式

- 日 時 10月16日（金）16時45分～17時
- 場 所 都城市役所 本館4階 秘書広報課前会議室
- 出席者 鈴木雄大潟上市長、池田宜永都城市長

○潟上市による物産P R販売

- 日 時 10月17日（土）9時～16時
18日（日）9時～15時
- 場 所 「道の駅」都城N i Q L L店内
- 内 容 米、梨、きりたんぼ、いぶりがっこ、比内地鶏などの展示販売
※同日、同会場では第4回極上和牛と焼酎マルシェ in ニクルを開催

【参考 石川理紀之助翁について】

秋田県潟上市出身で、秋田県の農業の普及と技術向上に功績のあった農業指導者。明治35年、同志7人と共に現在の都城市山田町谷頭を訪れ、農業技術のほか、読み書きやそろばん、礼儀作法などを指導。

